

③ マイリティの社会参加支援活動

Nos actions de soutien aux minorités pour leur participation sociale

Support activities for social participation of minority

世界の子供たちの可能性を引き出す

Développer les potentiels des enfants à travers le monde

Develop opportunities for children of the world



1: さをり織りで社会参画活動

ハンディキャップを持つ子供たちが自分の力や家族の協力で、将来への希望を持てるような活動を少しずつ進めております。



<ベトナム>

小さな織り機で簡単に布地が作れる「さをり織」。この手軽さをベトナムの枯葉剤障害者収容施設「平和村」の子供たちの職業支援にと活動をはじめられたのは、持田夫妻でした。私たちはその活動に共感し、2018年、手洗い場設置支援をしてきた「友好村」へ彦根ロータリークラブに協賛いただき、2機のさをり織機を寄贈いたしました。

糸も提供し訓練を始めたところ【図55&図56】、子供たちはまたたく間に技術を習得し、独自の美的感覚を活かした素晴らしい作品が次々と出来上がっております【図57】。

縫製の技術も少しずつ上達し、全ての作品には、子供たちの社会参画の喜びが感じられます。



<図55 平和村で織り方研修を受ける>



<図56 寄贈のさをり織り機到着>



<図57 半年後作品完成>

2:未就学児の支援活動

社会参画がスムーズにできるよう、学校へ行けない事情の子供たちの支援を致します。



<セネガル>

セネガルでは生きていくために家族を支え、自分の時間を持つことができない子供たちがまだいる現状です。

もちろん学校へも行けず読み書きもできません。そのような子供たちが少しでも社会へ参加できるような活動に繋げていきたいと思っております。

セネガルの地方部では、自宅から往復 1 時間以上の井戸へ水を汲みにいくことが子供の仕事となっています【図58&図59&図60】。そのため、学校へ通う時間もなく、衛生についての知識も全くありません。



<図58&図59&図60 井戸から水を汲み、家までの長い道のりを一日に何往復もする女児>

そのような子供たちに、手洗いの絵を描いてもらい、藁に貼って作品を展示します【図61】。



<図61 藁に貼っての手洗いの展覧会>

子供たちは絵が展示されたことを大変喜びます。この喜びが手を洗う大切さを心に刻むのではないのでしょうか。
水不足からトイレの排水も悪く【図62】、手洗い指導がトイレ清掃や衛生への意識改革へとつながっていくことを望んでおります。



<図62 地方のトイレ-汲み取り式トイレすら数少ない>

また今後は、ストリートチルドレンへの就学支援の活動にも力を入れていきたいと思えます。
写真【図63&図64&図65】は JICA 青年協力隊員によって就学を推進した学校風景です。



<図63&図64 ケンビア・ソセ校での授業風景>



<図65 就学出来た明るい表情の子どもたち>